

ちば 県議会だより NO.151

党派別議員数	
自民党	54人
民進党	19人
公明党	8人
共産党	5人
市民ネット・社民・無所属	4人
護憲保守の会	1人
千葉県民の声	1人
いんば無所属の会	1人
かとり無所属の会	1人
我孫子無所属の会	1人
定数95人 現員95人	(平成28年5月13日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

六月定例会県議会のあらかし

六月定例会県議会は、五月二十七日に召集され、六月二十一日までの二十一日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、条例の一部改正案など二十二件、報告一件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

六月二日の質問初日には、議員発議による「手話言語等の普及の促進に関する条例」(以下「手話言語条例」)が上程され、提出者の趣旨説明が行われました。

六月二日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十四名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、子育て支援、道路整備、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、六月十三日から四日間にわたり開催され、付託された議案・請願・発議案(手話言語条例)について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案及び発議案については原案のとおり可決・承認されました。次に、人事案件四件が追加上程され、知事の提案理由説明の後、採決の結果、同意されました。

その後、議員発議議案(意見書)が上程され、二十三件のうち六件が可決されました。

また、任期満了に伴い、各常任委員会及び議会運営委員会の委員が新たに選任され、各委員会において、正副委員長の互選が行われました。

最後に本間議長、石橋清孝副議長の辞職により、正副議長選挙が行われました。

6月3日(金)



共産党
三輪 由美 議員
(松戸市)



公明党
秋林 貴史 議員
(松戸市)

6月2日(木)



民進党
矢崎 堅太郎 議員
(浦安市)



自民党
伊藤 昌弘 議員
(佐倉市)

代表質問

※質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

- ▼ 安保法制・憲法・アベノミクス等の施設廃止(行徳野鳥観察舎等)
- ▼ 待機児童解消と保育士待遇改善
- ▼ 教員多忙化解消・部活動改善
- ▼ 精神障がい者に県医療費助成を
- ▼ パチンコ出店と子ども住環境

- ▼ 防災対策
- ▼ 生活困窮者自立支援制度
- ▼ 児童養護
- ▼ 障がい者施策
- ▼ 特別支援学校の整備
- ▼ 教育現場における政治的中立性

- ▼ 防災問題
- ▼ 女性活躍推進法の施行
- ▼ 潜在保育士の活用
- ▼ 障害者差別解消法
- ▼ マンション政策
- ▼ 教育格差の是正

- ▼ 知事の政治姿勢/総合計画
- ▼ 国の交通政策審議会の答申
- ▼ 防災対策
- ▼ 中小企業の活性化
- ▼ 農林水産業の振興
- ▼ 日本遺産

議長、副議長紹介



第70代議長
宇野 裕 議員
(匝瑳市 6期)



第68代副議長
木名瀬 捷司 議員
(野田市 4期)

6月21日(最終日)の本会議において、第70代議長に宇野裕議員、第68代副議長に木名瀬捷司議員が選出されました。就任にあたり、宇野議長は「真の豊かさを実感できる県民生活を実現するため、議会機能の一層の充実強化を図り、620万県民の負託と信頼に応えるため、誠心誠意その職務に当たりたい。」と抱負を述べました。また、木名瀬副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

ちば中学生県議会を開催

5月27日(金)の本会議散会后、ちば中学生県議会が開催されました。

県議会への関心を高めるとともに、中学校社会科の「民主政治と政治参加」の体験学習として、県内の公立・私立中学校から95校、190名が参加しました。

本間議長、内藤教育長のあいさつに続き、森田知事から県政の概要説明が行われ、その後、10名の中学生議員が登壇し、県の施策等について質問し、関係課長等が答弁を行いました。

最後に、「東京オリンピック・パラリンピックに向けたおもてなしの取り組みと観光立県ちばづくりに関する決議」を全員一致で可決し、石橋副議長のあいさつ後、ちば中学生県議会は終了しました。



議長・副議長を務めた中学生



質問、答弁に真剣に耳を傾ける中学生議員

東京オリンピック・パラリンピックに向けたおもてなしの取り組みと観光立県ちばづくりに関する決議



2020年、日本で東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることとなり、千葉県も複数種目の競技会場に選ばれました。これを受けて、国内だけでなく、海外からも多くの選手や観客、観光客の方たちが、千葉県を訪れることが予想され、千葉の豊かな自然や文化、食などの魅力を知ってもらう大きな機会になるほか、参加国の事前キャンプ地では、選手団の皆さんとの国際交流も期待されます。

また、千葉県は、県内に、多くのスポーツ競技チームがあり、ちばアクアラインマラソンなどのスポーツイベントや大会も充実している、スポーツが盛んな県ですので、さらなるスポーツ振興にも弾みがつくと考えます。

両大会の開催は、千葉の魅力を世界にアピールし、千葉県が、今後も、さらに発展していくための絶好の機会です。

そのためには、競技会場や、事前キャンプ地の競技施設等の整備はもとより、県内各地をスムーズに移動できる交通網の整備や宿泊施設の整備など、千葉県を訪れる方の受入体制をしっかりと整える必要があります。

また、千葉県を訪れた方が、これを機会に、県内を周遊して、各地域の魅力を十分に楽しんでもらえる観光地整備や、それを紹介する情報発信なども重要です。

さらには、私たち中学生もできることとして、様々な語学を学び、選手や海外から訪れる方に対して積極的に交流を行ったり、ボランティア活動に参加したりと、心からのおもてなしに努めることが大事だと考えます。

こうしたことから、ちば中学生県議会では、千葉県を訪れる選手や観客、観光客の皆さんに「千葉に来てよかった。次もぜひ訪れたい。」と提供いただけるよう、私たち中学生をはじめ、行政、事業者、民間団体など全ての千葉県民が、おもてなしの心を養うとともに、千葉の魅力をもっと楽しんでもらうための施設整備や人づくりに力を入れ、東京オリンピック・パラリンピックに向けた「おもてなしの取り組みと観光立県ちばづくり」に努力していくことを、強く希望します。

以上、決議する。

平成28年5月27日 ちば中学生県議会

代表質問から

財政

問 平成二十七年一般会計の収支見通しはどうか。

答 歳入面では、原油安の影響等により地方消費税が落ち込むなど、県税収入が減少した一方、歳出面では、徹底した経費の節減に努めたことや、人件費や社会保障費等の確定に伴う不用額が生じたことなどから、現時点では十億円程度の黒字を確保できる見込みである。

鉄道

問 国の交通政策審議会の答申では、混雑性の緩和、空港へのアクセス機能の強化、駅のバリアフリー化等について言及しているが、本県の改善状況はどうか。

答 都心に向かう主要路線における混雑の状況については、増便などの取り組みの結果、ピーク時における平均混雑率が、平成十年に一九一％だったものが、平成二十六年には一六八％になるなど、大きく改善している。また、空港アクセスについては、成田スカイアクセス線が平成二十二年に開業したことにより、都心から成田空港までの時間は、五十分以上から現在では最短三十六分にまで短縮され、大幅に向上した。

さらに、駅のバリアフリー化については、国の定めた基本方針により、平成三十二年までに、一日当たりの平均利用者三千人以上の駅について整備することを目標としており、本県の整備率は、平成二十六年末で九二・二％と着実に進捗している。今後は、県だけでなく、沿線自治体や県経済界なども連携を図り

ながら、国や鉄道事業者に対する要望活動に取り組んでいく。

防災

問 熊本地震に対して、県は、今後どのような支援を行っていくのか。

答 また、今後、本県の地震防災対策をどのように進めていくのか。

本県では、熊本地震発生直後から、被災地からの要請を受けて、災害派遣医療チームや保健師のほか、避難所や災害対策本部の運営のための職員を派遣するなど、行政と民間が一体となって支援を行ってきた。今後とも、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、必要な職員の派遣など、被災地からの要請を踏まえた、適時適切な支援を行っていく。また、本県においては、地震被害想定調査の結果を踏まえ、新たな減災目標の設定により、地域防災計画等を見直して、防災対策を強化するとともに、自助、共助、公助が一体となった、災害に強い千葉県づくりを進めていく。

待機児童

問 「二〇一九年までに待機児童の解消を目指す」という目標をどのように達成するのか。

答 県では、待機児童の解消に向けて、国の交付金を活用し、認可保育所や認定こども園、小規模保育事業などの施設整備に対し助成するとともに、定員増を伴う認可保育所等の施設整備については、県独自の補助を行っている。また、潜在保育士の再就職支援を行うとともに、保育士試験の実施回数を増やすなどにより、保育現場で働く保育士を確保している。

昨年四月にスタートした子ども・子育て支援新制度では、認可保育所や認定こども園のほか、待機児童の多い〇歳から二歳までの子どもを対象とする小規模保育事業などの新たな保育の受け皿が創設された。平成二十八年度は、認可保育所と認定こども園を合わせて百施設、約六千二百人分、小規模保育事業は六十五施設、約八百六十人分の定員増を見込んでおり、今後も、こうした多様な保育の受け皿確保により、待機児童の解消を目指していく。

防犯カメラ

問 平成二十七年までに防犯カメラ設置補助を行った市町村数と、防犯カメラの設置台数はどうか。

また、本事業の成果はどのように考えているのか。

答 平成二十三年度から平成二十七年までの五年間で、二十七市町に對し、六百五十九台の補助を行った。この間、ひたつくりの認知件数が約九割減少するなど、防犯カメラの設置は、路上などでの犯罪の抑止に一定の効果があつたものと考えている。今後とも、防犯カメラの設置を促進するとともに、警察や地域の自主防犯団体とも連携を密にして、安全・安心なまちづくりを一層推進していく。

中小企業

問 小規模企業の活性化に向けて、県はどのように取り組んでいるのか。

答 県では、平成二十六年十一月に策定した「第三次ちば中小企業元気戦略」に基づき、「小規模企業」への支援を、重要な柱の一つとして取り組んでいる。具体的には、従来から実施している小規模企業向けの低利融資に加え、販路開拓のための展示会出展に対する助成を拡充したほか、商工会等が実施する小規模企

業支援事業に対する助成制度を新たに設けた。また、小規模企業の経営に関する相談窓口である「よろず支援拠点」についても、千葉市内の本部に加え、県内十一カ所にサテライト相談所を開設したところであり、地域の事業者の様々な支援ニーズを掘り起こしながら、小規模企業の活性化に努めていく。

飼料用米

問 飼料用米の生産拡大に、平成二十七年は、どのように取り組んだのか。

また、平成二十八年度は、どのように取り組んでいるのか。

答 平成二十七年は、飼料用米に転換しても主食用米と同等以上の収入が見込めることが理解されるよう、市町村と連携し、戸別訪問や土地改良区等を対象とした説明会を行った。さらに、国や関係機関と一体となり、米の作付面積が多い十九市町を重点対象として、飼料用米推進キャラバンを実施。その結果、飼料用米の取組面積は、前年の三・五倍となる約四千ヘクタールまで拡大した。県では、農業者が安心して飼料用米に取り組めるよう、主食用品種による飼料用米の生産に対する県単独助成の単価を倍増するとともに、本年三月、知事から、森山農林水産大臣に制度の恒久化を要望した。平成二十八年度は、新たに国と連携して、飼料用米の拡大に向けた働きかけを集荷業者に対しても行っており、関係者一丸となって全力で取り組んでいる。

道路

問 広域的な幹線道路ネットワークの整備状況はどうか。

答 県では、首都圏における交流や連携を推進し、地域経済の活性化や

防災力の向上を図るため、圏央道や外環道、北千葉道路などの広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化に努めている。圏央道の大栄・横芝間については、平成二十七年末の用地進捗率は約三六％、外環道については、平成二十九年の開通に向け、全面的に工事が展開されている。北千葉道路については、東側区間の印西・成田間のうち、四・二キロメートルは、今年度開通の予定である。また、西側の市川・鎌ヶ谷間については、計画の早期具体化に向け、調査を進めている。

特別支援学校

問 特別支援学校への入学希望者が増える中、過密状況への対応や、雨漏り、壁の剥落などの校舎等の老朽化の問題にどのように対応しているのか。

答 特別支援学校の過密状況への対応については、県立特別支援学校整備計画に基づいて順次整備を進めており、平成二十七年には、習志野特別支援学校など五校を開校した。さらに、平成二十九年には、北総地域に(仮称)栄特別支援学校を設置する予定である。また、校舎等の老朽化については、昨年度末に策定された公共施設等総合管理計画に基づき、今後、対策を講じていくが、緊急的な補修・改修については、引き続き、児童生徒に危険が及ぶ恐れのあるものなどから優先的に対応していく。今後とも、障害のある児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、保護者や児童生徒の要望にも配慮しながら、特別支援学校の教育環境の整備に努めていく。

をを図るための取り組みはどうか。

答 今年度からスタートした第十次交通安全計画において、「自転車の安全利用対策の強化」を重点項目として位置付け、事故防止のための交通安全教育・広報啓発、自転車保険の加入促進などに取り組むこととしている。

特に、今年度は、自転車の安全利用を進めるため、自転車事故の発生割合が大きい中学生・高校生などの若い世代を主な対象に、自転車競技を題材とし、千葉県を舞台とする人気アニメ「弱虫ペダル」を活用したキャンペーンを展開する予定である。今後とも、警察、関係機関等と連携し、自転車の安全利用をより一層推進していく。



可決・承認・同意された議案

- ◆条例の一部改正(十五件)
- ▽千葉県県税条例等
- ▽千葉県議会議員及び千葉県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公費負担に関する条例
- ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例
- ▽民生委員の定数を定める条例
- ▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽認定こども園の認定の要件を定める条例
- ▽幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽千葉県千葉リハビリテーションセンター設置管理条例
- ▽児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運

可決された意見書

- ▽次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書
- ▽義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- ▽国における平成二十九年教育予算拡充に関する意見書
- ▽別居・離婚後の親子の断絶を防止するための法整備を求める意見書
- ▽待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書
- ▽警察官の増員に関する意見書

採択された請願

- ▽パチンコ出店計画から子どもと住環境を守り安全安心、活気ある街づくりを求めることについて(第二項、第四項)

自転車安全利用

問 自転車の安全利用対策の強化

各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 知事の公用車使用及び海外出張時の飛行機やホテル利用のルールはどうか。

答 知事は庁用自動車であり、その使用については、「公務を行うために必要があると運行管理者が認めた場合に限るものとする」と要綱に定められており、これを遵守している。

問 知事の海外出張における航空賃、宿泊料については、条例に基づき、国家公務員の例により支給している。具体的には、航空賃については、ビジネスクラスの旅費を、宿泊料については、旅行地域によって、一泊当たり二万九千円から二万七千四百円の範囲で支給しており、適切に対応している。

総合企画水道常任委員会

問 県営水道は、濁水に伴う取水制限に、どのように対応するのか。

答 ホームページなどによる節水の広報や、大口利用者などに対する節水協力依頼を行うとともに、浄水場・給水場からの配水圧を調整する。

健康福祉常任委員会

問 発議案第一号(手話言語条例)に関して、条例案第十一条には、「手話通訳者等の養成及び研

修に努める」とあるが、手話の普及・促進を図るうえで、手話通訳者の役割は重要である。

問 手話通訳者等の養成にあたり、千葉県の現状と課題について、どのように認識しているのか。また、処遇の改善についてはどうか。

答 現在、手話通訳者二百三十人、要約筆記奉仕員百三十二人、盲ろう者向け通訳・介助員百七十五人が登録されており、聴覚障害者に派遣されている。

問 一方、市町村によって、手話通訳者数や派遣実績にばらつきがあることから、県としては、計画的に手話通訳者の養成を図るとともに、手話通訳者の少ない地域で養成講座を開催するなど、地域的な偏りにも配慮しつつ、処遇の改善にも取り組んでいきたい。

環境生活警察常任委員会

問 県北西部直下地震が起きた場合、八百四十万トンの災害廃棄物の発生が予測されることだが、廃棄物の処理に向けた課題は何か。また、県内だけでの処理は難しく、他県に協力を要請するなど、さらに広域的な対応も必要と考えるがどうか。

答 市町村において、十分な仮置き場を確保しておくなど、平時からの備えが大切であり、市町村の処理能力が追い付かない場合には、広域的な対応も重要になると考えている。

商工労働企業常任委員会

問 アベノミクスが県内経済にあつた影響をどう認識しているのか。また、国はアベノミクス第二ス

テージにより、経済の好循環を図ろうとしているが、地域経済の活性化に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。

答 県内総生産は、平成二十三年度実質で二十兆四千億円だったものが、平成二十五年度には二十一兆四千億円に増え、個々の指標では、雇用情勢や倒産件数が着実に改善している。

問 また第二ステージとして、国は働き方改革などを進めているが、県としても、すべての部局を通じて働き方改革や子育て支援を進めていくことが重要と認識している。

答 そのような中で、ちば中小企業元気戦略の見直しに向けて、事業者等との勉強会を通じ、地域経済の活性化に繋がる取り組みを考えたい。

農林水産常任委員会

問 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、事前キャンプや大会期間中における千葉県産の農林水産物の提供について、どのように取り組んでいくのか。

答 農林水産部の各課で構成する検討会において、生産者団体等の協力を得ながら、食材等の供給や、効果的なPRに必要となる生産対策や販売対策などについて検討していきたい。

県土整備常任委員会

問 公共事業の早期執行について、今年度上半期は、昨年度より一割高い七割を目標としているが、どのように取り組んでいくのか。

答 県土整備部では、出先事務所ごとに目標契約率を設定するとともに、出先事務所と本庁主務課で構成される公共事業進行管理調整会議検討会において、目標設定の考

え方等について意見交換を行った。出先と本庁の連携をこれまで以上に密にし、進捗管理を徹底することにより、早期執行の目標達成に向けて取り組んでいく。

文教常任委員会

問 (仮称)栄特別支援学校の設置により、この学校の過密化が解消されるのか。また、使用しなくなる学校の活用だけで過密化が解消できるのか。

答 富里特別支援学校と印旛特別支援学校の過密状況が解消する。

問 現在、県立特別支援学校整備計画に基づいた整備を進めており、地域や各学校の状況を見ながら、過密状況への対応策を検討していく。

平成28年9月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月 日	議事・委員会予定	開議予定時間
9月21日(水)	開会日 TV	午前10時～
28日(水)	質疑並びに一般質問 TV	//
29日(木)	// TV	//
30日(金)	// TV (午前のみ)	//
10月3日(月)	//	//
4日(火)	//	//
5日(水)	//	//
7日(金)	常任委員会(商工労働企業・県土整備)	//
11日(火)	// (農林水産・文教)	//
12日(水)	// (総務防災・健康福祉)	//
13日(木)	// (総合企画水道・環境生活警察)	//
18日(火)	閉会日	午後1時～

インターネットでも本会議、予算委員会の生中継及び録画中継(過去3年分)をご覧ください。



▲議会中継QRコード (スマートフォン・タブレット)



*素案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会にて協議されます。

TV …「チバテレビ」での生放送があります。ぜひご覧ください。

議会において選任同意・選出された委員・議員

監査委員	君津広域水道企業団 議会議員
山中 操 (自民党) 横堀喜一郎 (民進党)	川名 寛章 (自民党)

(平成28年6月21日現在)

常任委員会委員

委員会名	総務防災	総合企画水道	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文 教	
定数/現員	12/12	12/12	12/12	12/12	12/12	11/11	12/12	12/12	
委員長	中沢 裕隆 (自民党)	林 幹人 (自民党)	斉藤 守 (自民党)	関 政幸 (自民党)	小池 正昭 (自民党)	瀧田 敏幸 (自民党)	實川 隆 (自民党)	坂下しげき (自民党)	
副委員長	中村 実 (自民党)	五十嵐博文 (自民党)	森 岳 (自民党)	茂呂 剛 (自民党)	石井 一美 (自民党)	戸村 勝幸 (自民党)	三沢 智 (自民党)	小路 正和 (自民党)	
委員	自 民 党	浜田 穂積 佐藤 正己 木名瀬捷司 石毛 之行 亀田 郁夫	本清 秀雄 小高 伸太 本間 進 阿井 伸也 大松 重和	伊藤 和男 川名 寛章 石橋 清孝 佐野 彰 伊豆倉雄太	河上 茂 山中 操 江野澤吉克 鈴木 衛	阿部 紘一 田中 宗隆 西田三十五 白井 正一 山本 義一	酒井 茂英 信田 光保 中台 良男 伊藤 昌弘	宇野 裕 鈴木 昌俊 今井 勝 木下 敬二 鶴岡 宏祥	宍倉 登 吉本 充 松下 浩明 内田 悦嗣 武田 正光
	民 進 党	田中 信行 横堀喜一郎	天野 行雄 矢崎堅太郎 網中 肇 大崎 雄介	河野 俊紀 磯部 裕和	竹内 圭司 中田 学 守屋 貴子	鈴木 均 安藤じゅん子	石井 敏雄 鈴木 陽介	高橋 浩 松戸 隆政	石井 宏子 野田 剛彦
	公 明 党	秋林 貴史	赤間 正明	田村 耕作	藤井 弘之	横山 秀明	仲村 秀明	塚定 良治	阿部 俊昭
	共 産 党			寺尾 賢	三輪 由美	丸山 慎一		岡田 幸子	加藤 英雄
	市 社 無			ふじしろ政夫	小宮 清子	山本 友子			入江 晶子
一人会派	プリティ長嶋 (県民声) 水野 友貴 (我孫子)					西尾 憲一 (護憲会) 谷田川充丈 (かとり)	岩井 泰憲 (いんば)		

(平成28年6月21日現在)

議会運営委員会委員

定数/現員	16 / 16	
委員長	信田 光保 (自民党)	
副委員長	中台 良男 (自民党)	
委員	木下 敬二 江野澤吉克 伊藤 昌弘 武田 正光 (自民党)	實川 隆 小池 正昭 石井 一美 茂呂 剛
	田中 信行 磯部 裕和 (民進党)	網中 肇 中田 学
	赤間 正明(公明党)	
	丸山 慎一(共産党)	
委員外員	ふじしろ政夫(市社無)	
	西尾 憲一(護憲会)	
	プリティ長嶋(県民声)	
	岩井 泰憲(いんば) 谷田川充丈(かとり) 水野 友貴(我孫子)	

(平成28年6月21日現在)

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

六月六日(月)

議員 高橋 浩 議員 (木更津市) 質問項目: 子育て支援(待機児童対策)、学校給食費無料化、高速バス網の活用(チバスタ)、酪農の振興

議員 小路 正和 議員 (いすみ市) 質問項目: 防災対策、医療問題、県内ローカル鉄道の活用、農林水産業の振興

議員 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区) 質問項目: 異常気象による高潮・洪水対策、幕張新都心地下空間の植物工場、サイバー攻撃対策の強化、鉄道交通の安全推進

議員 武田 正光 議員 (流山市) 質問項目: TXの東京駅延伸と混雑緩和、柏特別支援学校、県立市野谷の森公園、小児医療と子育て支援

議員 實川 隆 議員 (山武郡) 質問項目: 農業問題、成田空港、栗山川の河川整備、圏央道周辺の土地利用

六月七日(火)

議員 松本 浩明 議員 (山武市) 質問項目: 二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック/鉄道政策、防災・減災/道路整備と河川改修

議員 塚定 良治 議員 (市原市) 質問項目: 生涯大学校、農業政策

議員 小高 伸太 議員 (勝浦市・夷隅郡) 質問項目: 地震防災対策、障がい者問題、千葉港長期構想の策定、千葉こどもの国の継続

議員 小高 伸太 議員 (勝浦市・夷隅郡) 質問項目: 二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック、商工会、小規模事業者への支援、観光振興、移住・定住の促進策

議員 瀧田 敏幸 議員 (印西市) 質問項目: 都心直結線、AEDの使用普及、カミツキガメ対策、千葉ニュータウン事業

六月八日(水)

議員 横堀 喜一郎 議員 (茂原市) 質問項目: 長生の森公園整備、避難所運営支援、保健医療計画、茂原にいほる工業団地

議員 入江 晶子 議員 (佐倉市) 質問項目: 地下水汲み上げ規制の見直し、医療・介護問題、国民健康保険の広域化、定時制高校夜間給食廃止問題

議員 木下 敬二 議員 (南房総市・安房郡) 質問項目: アカゲザル対策、道路問題、広域営農団地農道整備事業、県がんセンターの医療事故

議員 伊藤 和男 議員 (香取市) 質問項目: 県政運営、産業政策、医療問題

議員 三沢 智 議員 (館山市) 質問項目: 漁業の活性化、広域観光圏、公共事業、道路整備

六月九日(木)

議員 石井 一美 議員 (鎌ヶ谷市) 質問項目: 地方創生「総合戦略」、治水対策、道路問題、高齢化対策

議員 坂下 しげき 議員 (市川市) 質問項目: 財政運営と予算執行、子ども育成・障がい者及び高齢者の生活支援、動物愛護に関する取り組み、国分高校校長公舎の転用

議員 野田 剛彦 議員 (船橋市) 質問項目: 耐震シエルト、災害時の応援体制、障害者等用駐車場、漁業振興

議員 中沢 裕隆 議員 (柏市) 質問項目: 二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ、認知症施策の推進、児童福祉、柏市における警察力の強化

議員 野田 剛彦 議員 (船橋市) 質問項目: 有害鳥獣対策、ヤード適正化条例、学校における組体操、富川橋の架換え

議員 中沢 裕隆 議員 (柏市) 質問項目: 有害鳥獣対策、ヤード適正化条例、学校における組体操、富川橋の架換え

議員 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市) 質問項目: 介護職対策、子どもの貧困対策、インバウンドの推進、地震など大災害への対応

議員 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市) 質問項目: 介護職対策、子どもの貧困対策、インバウンドの推進、地震など大災害への対応

議員 中台 良男 議員 (四街道市) 質問項目: 介護職対策、子どもの貧困対策、インバウンドの推進、地震など大災害への対応

6月定例県議会 知事あいさつ

◎熊本地震及び本県の防災対策

4月14日以降に発生しました一連の熊本地震で犠牲となられた方々とその御家族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

千葉県からも、発生後、直ちに災害派遣医療チームや、保健師等の職員を派遣するなど、官民一体となって被災者の支援に当たったところであり、現在も、被災地からの要請に対応し、支援を継続しています。

被災地では、大きな地震が連続して発生し、土砂崩れも多発するなど、地震の恐ろしさを改めて痛感したところです。

このような中、県では、東日本大震災で得た知見などを踏まえ、新たに地震被害想定調査及び石油コンビナート等防災アセスメント調査の結果をとりまとめました。これらの調査では、千葉県北西部直下地震が発生した場合、揺れや火災による多くの死傷者や、建物の倒壊、ライフラインの寸断、事業所における油の流出といった甚大な被害が想定される結果となりました。

今後は、この結果に基づき、本県の防災対策をもう一度点検するとともに、地域防災計画を見直すなど、災害に強い千葉県づくりの一層の強化に取り組んでまいります。

◎ちばアクアラインマラソン2016

10月23日の開催まで、あと150日を切りました。

3回目となる今回の大会には、様々なランナーに参加いただけるようアスリートランナー枠や外国人ランナー枠などの特別枠を設け、フルマラソン、ハーフマラソン、合わせて1万7千人の総定員に対して、一般枠で3万1千人を超える応募がありました。

今後は、事前イベントにより大会の機運を盛り上げるとともに、大会当日には、県内各地のグルメやお土産など千葉の魅力いっぱ



い物産展や、コース沿道での演奏、ダンスパフォーマンスによる熱い応援などにより、参加するランナーや来場者の皆様に、千葉の魅力とおもてなしの心を感じていただけるようしっかりと準備を進めてまいります。

◎日本遺産の認定

佐倉市、成田市、香取市、銚子市を舞台に、地域の文化遺産をまとめたストーリー「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」が、4月に本県で初めて「日本遺産」に認定されました。

北総地域は、利根川水運と江戸に続く街道を活用し、百万都市江戸のくらしや経済を支えながら、城下町の佐倉、成田山新勝寺門前町の成田、香取神宮や商家の町並みの佐原、漁港を中心とした港町の銚子という4つの特色ある都市が発展し、今でも江戸情緒を感じることができます。

また、成田空港に近いこれらの都市は、世界に一番近い「江戸」として、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客をさらに取り込むことが期待できます。

今後も、この「日本遺産」を大いに活用しながら、国内外に千葉の魅力をしっかりとPRし、本県の産業振興や観光振興につなげてまいります。

